

ほ におい 穂 香 タイムス <8月号>

北方四島交流センター（ニ・ホ・ロの最近の出来事）

8月は、「北方領土返還運動全国強調月間」です。全国各地で様々な啓発事業が行われています。

原点の地、根室においても、今月、5日に根室市総合文化会館において「北方領土返還要求根室市民大会」、19日には「北方領土ノサップ岬マラソン大会」が行われました。

沖縄・函館豆記者団ようこそ根室へ！



北方領土返還運動強調月間がスタートした1日に、沖縄豆記者団50名と函館豆記者団14名の北方領土取材班が来訪し、ニホロを会場に長谷川市長に北方領土問題について取材するとともに、根室市内の中学生と交流をしました。

豆記者たちは北方領土返還運動を学ぶため原点の地、根室に毎年訪れています。



取材では、「根室市民の北方領土返還に対する想いは、どのようなものか」、「返還のための新たな取り組みがあったら教えてください。」、「ビザなし交流は、北方領土返還にどのように役立っているのですか。」など…の質問が出され、長谷川市長の答えに耳をかたむけ、一生懸命メモをとっていました。



地元中学生との交流では、沖縄空手の型や沖縄の踊りが披露され、沖縄豆記者団の司会により根室の中学生との意見交換などが行われました。

是非、この経験を生かし、北方領土問題を多くの人たちに伝えていただきたいと思います。

北方少年少女塾

7月24日、中標津町立広陵中学校の皆さん98名が「北方少年少女塾」に参加しました。皆さんメモをとったり、質問したりと事前学習の成果が非常に良く現れています。

二・ホ・ロの高橋孝志専門員の講話や展示室・資料室での説明員の解説には熱心に耳を傾けていました。



来館者ニュース

全国地域婦人団体連絡協議会・日本青年団協議会

全国地婦連と日青協による「第43回北方領土復帰促進婦人・青年交流集会」が7月28日、根室で開かれ、全国から約100人が参加しました。

昭和44年以来、北方領土返還要求運動に取り組み、世論の喚起と運動の盛り上げ、地域の担い手となる運動リーダーを育成することを目的に現地（根室）での交流集会を続けてきています。

二・ホ・ロへも毎年来館され、北方領土問題に対する見識を深められております。



明治団地町内会「まどい」の皆さん 館内視察



8月1日、明治団地町内会「まどい」の皆さん、20名が来館しました。

一行は、北方四島の自然をテーマとした映像を見て、昼食をはさみ説明員の案内で館内を視察しました。



富山・和歌山少年少女 北方領土学ぶ

第43回富山県北方領土復帰促進少年少女北海道派遣団と第10回和歌山県民会議北方領土中学生現地研修の一行が、北方領土問題を学ぶため「原点の地」根室を訪れました。

富山県の中学生10人と和歌山県の5人は、8月5日に市総合文化会館で行われた北方領土返還要求根室市民大会に出席し、それぞれの代表者が県民会議からのメッセージを大会長である長谷川市長に手交しました。



この後、両県の中学生は北方四島交流センター（ニ・ホ・ロ）に訪れ、地元中学生10人と「北方領土ビンゴ」などで楽しみながら交流し、「北方領土を知ってもらうため」をテーマにいろいろな方策について熱心に意見交換を行っていました。



全国から「北方領土青少年等現地視察団」が根室入り

全国の青少年等に北方領土問題を身近にとらえてもらい、返還要求運動を継承してもらうことを目的に、北方領土問題対策協会が新たな取り組みとして今年度から2年間で全都道府県民会議を主体に実施されます。

小学生から大学生までを対象に視察団を編成し、北方領土隣接地域である根室管内1市4町を訪れます。

兵庫県を皮切りに次々と青少年現地視察団が根室市を訪れており、北方四島交流センター（二・ホ・ロ）では、館内視察の後、元島民の講和を聞くほか、地元高校生による北方領土授業などが行われています。

■ 8月6日 北方領土返還要求運動兵庫県推進会議 (高校生14名、中学生1名、引率5名 計20名)



■ 8月7日 北方領土返還要求運動鹿児島県民会議 (高校生4名、中学生16名、引率7名 計27名)



■ 8月18日 熊本県北方領土対策協会
(高校生14名、中学生6名、引率5名 計25名)



■ 8月19日 茨城県民協議会 (中学生15名、引率8名 計23名)
山梨県民会議 (中学生15名、引率4名 計19名)



■ 8月20日 群馬推進連絡協議会
(大学生14名 高校生2名、中学生4名、小学生10名 引率1名 計31名)



福岡大学（領土問題学習）

8月20日、福岡大学の学生21名が、北海道での夏季セミナーの一環で、二・ホ・ロを訪れました。平成19年から毎年来館されております。

北海道北方領土対策根室地域本部職員の北方領土問題についての講義のあと、二・ホ・ロの高橋専門員から、実際に住んでいた島の様子などを含めた講話を聞き、館内を見学しました。



説明員の解説にメモをとりながら熱心に耳を傾け、見学終了後にはたくさんの質問をされ、北方領土問題に対する見識を深めていました。



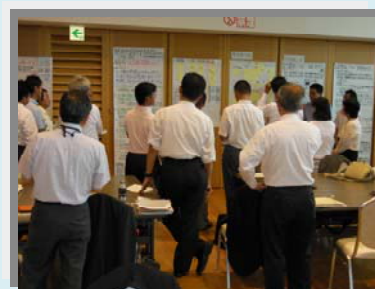
北方領土問題 教育指導者現地研修会

8月12・13日、北方領土問題対策協会が主催する「平成24年度 教育指導者現地研修会」が、二・ホ・ロを会場に開催されました。

全国都道府県、政令指定都市の教育指導者62名は、納沙布岬を視察したあと、二・ホ・ロでの開会式では地元の石垣副市長らの挨拶のあと、色丹島元島民の得能宏さんからの講話では、旧ソ連軍侵攻の様子や引き揚げ時のつらい体験などの話しに耳を傾けていました。



2日目には、地理・歴史・公民の3班に分かれて事業構成案づくりを班ごとに進め、発表を行いました。新聞記事や写真などの資料を使いながら、よりわかりやすく工夫した事業構成案が紹介され、今後の活用が期待されるところです。



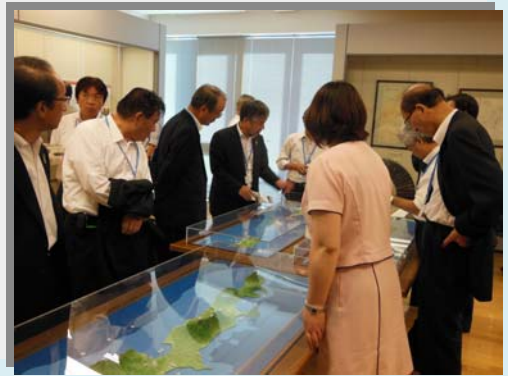
富山県民会議「北海道訪問団」

8月21日、北方領土返還要求運動富山県民会議の設立30周年を記念した「北海道訪問団」大野久芳県議会副議長を団長とした20人が二・ホ・ロを視察しました。

北海道に次いで元島民が多い富山県では、いち早く返還運動に取り組ん

できており、富山県内の民間団体も、それぞれ独自に活発な返還要求運動を展開してきております。

その様な中、個々の民間団体の運動を広く結集し、行政機関と一体になった返還要求運動を全県的に展開するため、昭和57年に県内25団体の参加の下に「北方領土返還要求運動富山県民会議」が設立されております。



また、富山県内の中学生を毎年根室市に派遣し、北方領土返還要求根室市民大会に参加するなど、また地元(根室)の中学生と交流を交わし北方領土問題について熱心に学んでおります。(穂香タイムス、今、8月号で紹介しています。)



お知らせ

「見て知る北方領土展示会」

～北方領土返還要求運動の歴史～

北方領土返還要求運動の強調月間に合わせて、根室市地域本部北方領土対策室主催の「見て知る北方領土展示会」が開催されています。

北方領土の歴史や北方領土返還要求運動について、またビザなし交流で活躍している新造船「えとぴりか」の概要や施設等も詳しく紹介されています。

展示期間は8月31日までとなっておりますので是非ご覧ください。



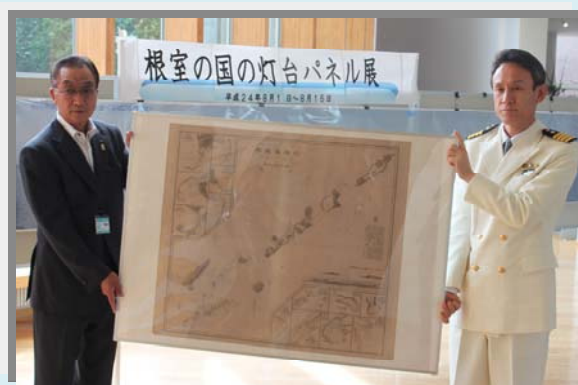
この機会に是非



寄贈されました。

8月15日、根室海上保安部より、納沙布岬灯台から撮影したオホーツク海、太平洋を見渡した165度の風景を収めた全長11メートルのパノラマ写真や、明治初期の海図（複写版）、北方四島周辺の警戒にあたる巡視船のパネル写真など、北方領土にちなんだ資料23点が寄贈されました。

今後、北方領土問題啓発のための啓発資材として有効活用していきたいと思っております。





8月31日まで、巨大パノラマ写真を2階ロビーに展示しておりますので是非ご覧下さい。